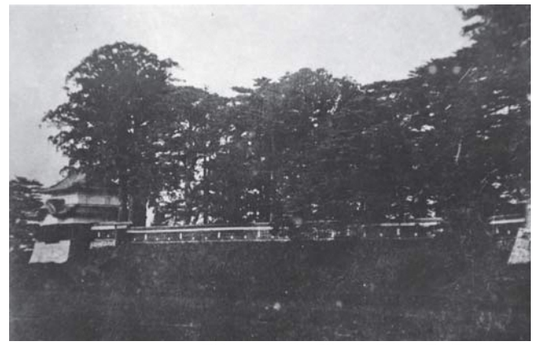
鶴ヶ岡城二の丸跡（つるがおかじょうにのまるあと）

鶴ヶ岡城址の紹介　外国語表記 Language

この「二の丸広場」は、鶴ヶ岡城の二の丸が造成されていた場所であり大手御門と二の丸御角櫓の中間に位置している。二の丸の石垣は、酒井氏時代の元和8年（1622年）以降に建造されたと推定され、石垣の高さは、現在の地盤面より3.0～4.0mほど高く、外堀に突き出た迫出の形状の石垣が特徴的である。

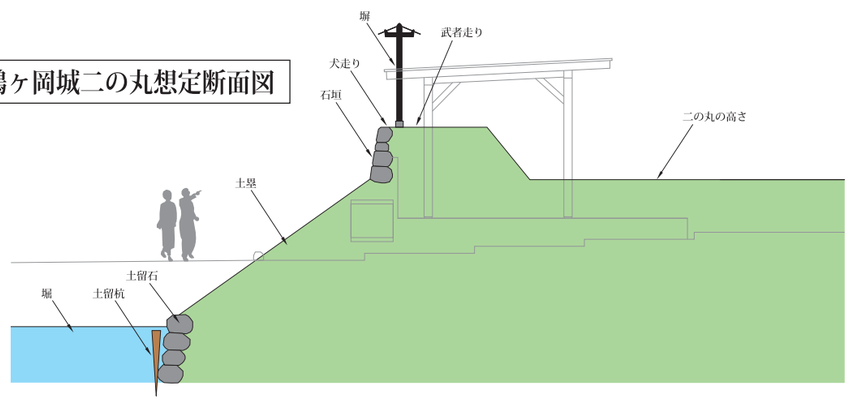
右記の写真と城図は、共に明治時代初期のものであり、堀水面下より土留杭、土留石、土塁、石垣、塀が確認できる。



鶴ヶ岡城二の丸御角櫓（明治初期　写真　鶴岡市郷土資料館蔵）

石川静正画「鶴ヶ岡城図」（致道博物館蔵）

鶴ヶ岡城絵図（幕末）

出典：大瀬欽哉「城下町鶴岡」
（庄内歴史調査会　発行　加工編集）

鶴ヶ岡城二の丸想定断面図